

生活を支える税金

所沢市立上山口中学校

三年 古屋 太一朗

みなさんは、「税」に対してどのような印象を持ちますか。私は買物をする時にかかる消費税が印象にあり、もとの値段より高くなってしまったため、嫌な印象を持ちます。消費税の他にもどのような「税」があり、何に使われているのでしょうか。また、なぜ「税」は必要なのでしょう。

私たちが最初に思いつく税は、おそらく、消費税だと思います。他にも国税として、所得税や法人税などがあります。消費税の税率は消費額に対して一律です。それに対して、所得税は国民それぞれの所得額に応じて税率が変わります。もし、所得税の税率が一律だった場合、収入の多い人と比べて収入の少ない人の負担が大きくなり、経済的な格差が広がると考えます。私はこの仕組みは公平だと思いました。

このように集められた税金の使い道は国会で話し合い、小中学校や医療、地域の環境整備などのために使われています。私たち中学生の教育費や医療費にも多くの税が使われています。もし、税金での援助がなければ、私たちではなく、親の人たちが重い負担に苦しみます。現在は、少子高齢化によって働き手が減り、納税者が減少しています。それに加えて高齢者が増えることで必要なお金は増えていきます。老後の健康で安心した生活を送るには多くの費用が必要ですが、それを実現させるため

の財源の中心は税金です。今のこの悪循環を切り抜けていくことが今の課題だと思います。解決のためには、税金をどこにどれだけ使うかだと思います。例えば、学校のトイレや照明など新しくすることは良いことですが、個人的に他のことに税金を使うべきであると思うこともあります。歳出を最低限に抑えて、正しい優先順位で使っていくことが大切だと思います。

現在、高齢者を大人約2人で支えていかなければならない時代です。私は大人になったら納税の義務をしっかりと果たし、今まで支えてもらった、たくさんの人たちに感謝の気持ちを持ちながら、私がこれからの社会を支えていきたいです。